



染料昇華・移行汚染防止下引き用バインダー

## UNDER COAT BINDER 301SS-1

### 1) 概要

ポリエステル生地へのプリント時に生じる昇華汚染や移行汚染を防止する為の下引き用バインダーです。

下引きに1～2層プリントすることで優れた汚染防止効果と共に伸縮性、堅牢度、平滑性を得ることができます。

指定有害物質を含まないエコ製品です。

### 2) 性状

Under Coat Binder 301SS-1	
外観	灰色ペースト
組成	アクリル系樹脂、特殊活性炭等
粘度 (mPa・s) (at 25°C)	90,000±10,000
pH	8.5±0.5
密度 (g/cm <sup>3</sup> )	1.18±0.05

### 3) 使用方法

#### 3) - 1 【処方】

Under Coat Binder 301SS-1	100
Fixer 各種	3
合計	103

#### 3) - 2 【工程】

- アンダープリント (2ストローク、70～100メッシュ/インチ)
- 乾燥
- アンダープリント (2ストローク、70～100メッシュ/インチ)
- 乾燥
- ホワイトプリント (2ストローク、70～150メッシュ/インチ)
- 乾燥
- ホワイトプリント (2ストローク、70～150メッシュ/インチ)
- ベーキング (150°C×3分)

### Recommended Parameters



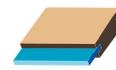
#### Fabric Types

T/C、ポリエステル



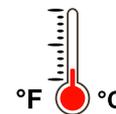
#### Screen Mesh

70～100mesh/inch



#### Squeegee

Durometer : 70/90/70  
Square Edge



#### Flash & Cure

150° C×3min.



#### Pigment

AUXILIARIES

Fixer FE, Fixer L or Fixer N  
2 - 3 %



#### Storage

5° C—30° C



#### Clean Up

石鹼水又は湯

#### 4) 留意事項

- ・良く攪拌して均一なペーストにしてからご使用ください。
- ・作業性は良好ですが、目詰まりが生じる場合は乾燥遅効剤 EG を 3 ～ 5% 添加して下さい。
- ・架橋剤は、Fixer L、Fixer FE または Fixer N が使用できます。  
Fixer L、Fixer FE は低温架橋性に優れますがインキのポットライフが短くなるため  
添加後は一日内での使用として下さい。  
Fixer N はポットライフが長く、残インキは後日にも使用できます。
- ・堅牢度が不足する場合は再ベーキングを施してください。
- ・インキ粘度を上げる場合は、エマコール R530 またはエマコール R600E を  
0.1 ～ 0.5% 添加し均一に攪拌して下さい。
- ・インキ粘度を下げる場合は、触媒 #3000 を 0.5 ～ 2.0% を添加して下さい。
- ・開封後は、表面が乾燥しないよう蓋を締めて下さい。
- ・長期保管は、密栓して冷暗所に保管下さい。

※ご使用の際には必ず貴社での性能確認をお願い申し上げます。

#### 株式会社松井色素化学工業所

〒607-8466 京都府京都市山科区上花山桜谷 64 番地  
(075)594-5611 (075)501-8106  
msc\_information@msc-color.co.jp www.msc-color.co.jp

